



発行人 巢山英毅
 編集人 西塔義睦
 発行所 (〒101)
 東京都千代田区練馬町73
 不二ビル7階(株)相伝
 TEL. 03(253)6935
 1部 100円(郵送料含)

「和をもって尊し」を信条に

会長 根本 静夫



じます。

今回、永年お世話になった樋口大先輩がご都合で会長を退かれ、後任に是非とも私にのことでお引受けいたすことにいたしました。

永い間前会長のご努力によって年々盛々盛大になりましたことは偏に同会長のお人柄によるもので、故郷松本の皆様方に羨望やるかたなしと聞いております。

このような折、私ごとき武骨者が会長とはまことにおもはゆなく、故郷弁で申すなら「大変切ない」ことであります。

私のつたない信条は「和をも

皆々様 につて尊し」で今日に至り、今後にはそれもそのつもりでありますので、それぞれのお聞き届けの上、会の発展にご協力をお願い申し上げます。

さらに一言、皆様にお願しいたいことは、今後皆様といっしょに飲み食いをするだけでなくお互いに仕事のこと、家族の様子、その他もろもろを胸を開いて語り合い、憩いの会にしたいと希っております。勿論、私も精一杯がんばり、また幹事役員の他裏方さん方のご協力をいただき、なんとかお役目を果たす所存でありますので、何卒ご支援をいただけますようお願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが就任のご挨拶といたします。

以上、簡単ではございますが就任のご挨拶といたします。



念願の同窓会機関紙、会報「あがた」の第一号が発行されました。

従来から掛声は色々のところからあがっていたが、組織的にも不十分であり、かつスタッフ的にも不十分で、またその熱意も掛声程にはなかつた様です。

しかし第15回総会において組織が確立、執行部の中に会報担当副幹事長が位置づけられ、そのもとに編集部としてスタッフが配置された。このことによつて一

東京のオアシスに

発行人 巢山 英毅

号だけでなく継続的に発行される礎が出来上がったのです。

さて若輩の私が会報担当を仰せつけられたが、その責任の重大さに身が引きしまる思いです。

ここで、その任を全うするにあつて若干の所感を述べて見たいと思つて、同窓会の機関紙は、もともと一部の人達のマスタートレーションで終るものではなく、同窓生全員が参画し、編集、原稿清書、カットの作成、印

刷所の交渉、校正、広告取り、原稿依頼、記事取材、会報発送等をそれぞれ手分けをして行なうものであると考えています。

現在は少人数のメンバーでスタートしましたが、今後、関心のある人、経験のある方、やってみたい方、誰でも積極的に編集部に参加していただきたいと思います。

内容的には、従来から目にする同窓会機関紙のような形式でなく、果敢独特のユニークな紙面を心掛けています。

現在想定している企画としては、グループ訪問、職域県陵会、各クラブOBの動向、同窓生の動向、母校の状況、連載記事(小説、随筆、詩歌、恩師を語る、広場、トピックス、声等を同窓生全員で作っていききたいと思います。

いずれにしても、全て広告とメンバーの自弁による独立採算的な形式で、資金的に非常に苦しい中で行なっています。広告、寄付等積極的な協力をお願いするものです。そして、ともすれば、日常に忙殺されてい同窓生にとつて会報「あがた」が一服の清涼剤となり、また東京のオアシスとなるよう、編集部一同頑張るつもりですので、末永いご協力を切にお願いするものです。

(八十二年一月三日)

明朗な運営を...

幹事長 中沢 依男

松本県ヶ丘高校同窓会東京支部は、青柳先輩、笠原先輩、その他の方々が当時、上京して勉学に励み、また実社会で活躍していた在京同窓生の力になるため、大変苦勞されて発足したもので、すでに半世紀が過ぎました。その間、第二次世界大戦という混乱時代をも耐え抜き、初

代校長の小松先生の教訓に従つて、質実剛健に成長して今日に至りました。

今日この隆盛を見るに至りまされたのは、歴代会長はじめ関係各位の献身的なご努力の結果であります。東京同窓会も会員が増加し、愈々設立の趣旨にそつて同窓生相互の親睦と協力、援助の実を挙げることが望まれました。

このたび幹事長の指名を受けまして、その器でないことを承知しながらも、諸先輩と幹事、それに会員の皆様のご指導の下に努力するのみと存じます。

具体的な事業につきましては会長のご方針に基いて、いっさい私心なく明朗な運営を計り、従来からの輝しい業績と伝統をいささかでも後退させないよう、に努めたいと存じます。会員各位の深甚なるご協力、ご指導をお願いいたしまして、ご挨拶といたします。

恩師を語る

恩師を語る

中6回卒 鈴木佐雄

今を溯ること半世紀、我が青春の夢をいとおしむ。当時、恩師を愛称、ニックネームで呼ぶことが流行した。恩師に対し不敬罪に値することをお許し願って、紹介に踏み切ることにした。

まず小松校長先生は〈狸〉、中島先生は〈万特〉、横内先生は〈カマキリ〉、中山先生は〈ハゲさ〉、今井先生は〈百八〉、大館先生は〈カメレオン〉、井口先生は〈山羊〉、武井先生は〈海坊主〉、宮沢先生は〈フグ〉、佐藤先生は〈兄ちゃん〉、三浦先生は〈山砲〉、島田先生は〈ケンチョウ〉、甲田校長は〈イボ作〉、鈴木先生は〈カリン糖〉、上島先生は〈山アラシ〉―まだまだ沢山の先生方にもニックネームがあったが、忘却してしまっていた。皆、懐しい良い先生ばかりだった。ネームの由来をご披露したいのだが、字の制約があるので割愛する。まあ、読者の楽しいご想像を……。

◇ ◇

サンキュー

さんば(三浦重雄)先生
英語教師の範をたる

中9回卒 河野広次

松二中時代：わが心の「刻」
みもうすれがかって来た。小心もので勉強がら。今いう「落ちこぼれ」生徒だった。それでも、中学時代はなつかしい。英語とサンボ先生(別名、赤自転車)の先生のこと、理数系はまるきり駄目だったが、英語をやや得意にしてくれたのは、先生の動機づけがあった。単語の暗記で手をあげるのもクラスでは多かつた。当時、小松校長のすいせんで東北学院出身のクリスチャンで英語力抜群の先生が松二中―県ヶ丘と校史とともに英語教師の範をたれたのだ。

板を自由自在に使って、白黒で直角に英語をスベルして本格的に教えこんでくれた。あの厳しい教育態度は、OBとして感謝し、すばらしい先生にめぐり会いを誇りとした。その後、青山学院で英語を勉強するには、当時絶対的といえるほどの学校

設備、教師陣であったが、ここでも、また遊んでしまった。英語との結びつきは、中学、大学とも教師には本当に恵まれたがチャンスをまんまと逃したという感じで残念でたまらない昨今である。
今、教育の原点を求めて、先生方の恩にむくいたい気持ちでいっぱい。有難うございました。
昭和十三年と言えば、今から四十年前にもなるが、卒業以来、私は恩師、土井保先生に一度もお目にかかっていません。今でもあの口をとがらして、すましていた先生のお顔は覚えております。ご住所も解らず一度もお便りを差し上げず残念に思っております。卒業と同時に渡満し一度先生に満州の状況などをお知らせしたのを同窓会報に発表させていただいたのが思い出として残っております。
先生は今でもお元気でお過しのことでしょうか。同期生の少なくなつた今では先生にも淋しさをお感じになつておられるかと思ひますが、一度旧友と共に拝顔の機を得られれば幸いと存じます。その日を期待して先生のご健勝をお祈りしたいと思います。

土井保先生

中11回卒 澤井義之助

枝折



かつて先生が生徒を殴つた時代があり、どちらからも殴らない時代があり、そして、今は生徒が先生を殴る時代になつてゐる。
同窓会は、この三世代が同居する集団である。いや、同居しなければならぬ。その難しさを理解しなければ、将来の発展は得られないであろう。
暴力は、どうしても一方的に意志表示をしなくては治まりがつかなくなつたとき生じる直接行為である。この単純素直な意志表示は、その世代において少なからず共通要素を持つて内在しており、同世代の者には暗黙のうちに理解出来ているのではないだろうか。
この気風の違いを生じる時代背景、社会環境を分析し理解しなければ、三世代の共存は難しいように思う。

同じ学舎に育ちながら、青春の感激も苦悩も世代によって違うのではないだろうか。社会人になつてからも願ひが違ふのではないだろうか。どこに共通点を見出すかが、これからの大きな課題と言えよう。

西塔

輸出入・国内販売
鉄鉱石・石炭・鉄鋼原料全般
鉄鋼製品・各種産業機械・石油製品・化学工業薬品

東南貿易株式会社

代表取締役社長 根本 静夫 (第5回卒)

本社：東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル
TEL (03) 279-2771 (代表)
出張所：君津・名古屋・広畑・八幡・大分
出張所：大分
駐在員事務所：シンガポール・マレーシア・インドネシア

弁護士 樋口和博

(第1回卒)

事務所 東京都千代田区九段北4-1-5
市ヶ谷法曹ビル203号室 〒102
TEL 03 (230) 4005
自宅 東京都世田谷区喜多見町5-21-15
〒157 TEL 03 (416) 2904

ニイチヤン

佐藤静雄先生

中13回卒 大澤清重

「教育の最良のビタミンは愛情である」とよく言われますが、私が二中時代から六十歳になる今日まで家族ぐるみのおつき合いをしていたにいたる恩師に佐藤静雄先生がおります。中学時代は国語を教わり、さらに四年、五年ではクラスの担任としてご指導をいただきましたが、「ニイチヤン」の愛称通り明るく温情あふれるお人柄で全生徒に愛された先生であつたと思います。特に私は米国で生まれ国語に弱かつたためか、兄貴のよ

うな先生の機微にふれて国語に力を入れ、この影響で大学卒業後は新聞記者の道へつき進みました。

サンポこと 三浦先生

中16回卒 丸山 保

佐藤先生はその後、丸子、塩尻、穂高、桔梗ヶ原、松本松南各高校の校長先生を歴任され、また長野県の教育委員会にもおつとめになるなど、教育一本の人生をあゆまれてきました。このため去る昭和五十四年には教育功労者として勲四等瑞宝章の叙勲の栄に浴されました。おめでたい限りです。佐藤先生ご夫妻のますますのご健勝を心からお祈りする次第です。

長崎門十郎先生

中18回卒 溝口仁三郎

在学中、我々生徒間では、先生の名前はほとんどアダム名で呼んでいた。寒卵、アゴ長、ふぐ、山羊など。そんな中で今も強く印象に残るのは、サンポこと英語の三浦先生である。問題を出して名指し、答えられないと、愛用の竹棒で一撃を喰う。二、三人叩かれた後、必ず級長ノとくる。しまいには二、三人やられたら、呼ばれる前に起立するのだが、答えられなくて、痛い思いをすることも多かつた。当時は悔しかつたが、今はなつかしい思い出だ。

「心の鑑」

中7回卒 塩原貞文

人は誰でも若き青少年時代に何かの衝動で受けた心情を強く抱いて忘れられず、これが役に立つことが儘々ある。

私は宿命的と言うか不思議なことに学校時代の一年坊主の時に、総て大きな事件に遭つていくことに気がついた。すなわち松本源池小学校一年では関東大震災に、二中の一年の時は美ヶ原・中村・二本遭難事件に、早稲田へ入つてあの「兵に告ぐ」今からでもおそくはない。二

〈東京タワー(株)代表取締役〉

二六事件に直接ぶつかつていて。この青春期を迎えた中学一年生として花は咲き、鳥は唄う春うららかな心浮き浮きの入学して間もないときであつた。担任の先生は国漢の横内秀雄先生であつて、授業開始間もなく私へ名指しで、松本市の小学校の校訓は何かとの質問を受けた。咄嗟のことでもあり、余り成績の良い方ではなかつたし、立たされたまま、なかなか答えられない。情けないし、あがつてしまひ顔面は紅潮し、しばし茫然としていて、間をおいて「愛・正・剛」と答を出してくれたので、「あ、そうか、校歌の句に出ているではないか」と後で気がついた

あれから四十年たつたが、母校二中への愛着は尽きることがない。試験の夢を今でもみることがあるし、うす暗い体育館で上級生にシゴかれたあの緊迫感、試合で声をからして応援したあの一体感など青春の息吹きは今もつて絶えることがない。恩師の中では特に長崎先生には大変お世話になり、また私の生き方や進路に大きな影響を与えてくれました。当時、理科か文科かと迷っていた私は、先生の物理や化学の授業を受けることによつて「物理学科」を選びました。先生の指導は頭から教え込むのではなく、質疑応答を通して考えさせる授業で、われわれは競って質問し先生とやり合ひ「学ぶ喜び」を味わうことができました。

昭和四年であつたから、もう五十余年経つてはいるが、それ以来この四字の言葉が、よい時代悪い時代、困つた時、折にふれ私の心の奥底にこびりついて、横内先生の名前と共に忘れることが出来ない。自分の行為に「飾り気もなくして誠意に励む」意義が如何に大切であつて、これからもさらに「心の鑑」として、常に反省しながら中堅社会人として、またよき先輩となるよう頑張つて行く所存である。

〈都立四谷商業高校校長〉

(株) 相 伝

代表取締役社長 堀 切 競 雄

(高2回卒)

東京都千代田区神田練堀町37
不二ビル7F
TEL 03 (253) 6935

塩 原 貞 文

(第7回卒)

東京都大田区田園調布2-39-5
〒145 TEL 03 (721) 3677

新会長に根本氏(中6回卒)!! 第15回総会終る

去る六月四日、午後六時より皇居を一望する竹橋会館において、藤木英一本部同窓会長を始め、藤森慎母校長、小沢肇校長、野原高校同窓会東京連合会会長、森下准同窓連中信地区会長、中藤照美松中深志同窓会代表、西村秀美松本県ヶ丘高校同窓会関西支部会長、同石川元也副会長、三浦重雄、長崎門十郎、松田文人、佐藤静雄、東明、中野三男各先生、小林庄司、小沢武雄、有賀正本部役員等、来賓、恩師多数を招き、また関東地区在住の同窓生約二百五十余名を一同に会して、第十五回東京同窓会総会及び懇親会を開催した。

まず森山修二(高1)実行委員長の開会の辞に始まり、懐しの校歌を斉唱、塩原貞文(中6)幹事長より会務報告、栗山英毅(高11)会計幹事より会計報告、中沢依夫(中3)会計監査から監査報告が行なわれ、万場一致で承認された。このあと役員改選に入り、樋口会長より、別掲新役員への推せんを行い、万場一致で承認された。この結果、二十数年に亘って続いた樋口会長が勇退され、新たに根本静夫(中5)東南貿易社長が選ばれた。



あいさつする樋口会長

引き続き、山岸光臣(高3)実行委員長より会則一部改正の提案があり原案通り承認された。根本新会長は、就任挨拶の席で、樋口前会長の永年の功績に感謝の気持ちを述べると共に、会則改正を受けて、早速樋口前会長を当同窓会名誉会長に推せんしたい旨発言があり万場一致で承認された。



新会長の根本氏(右)

手により、鏡開きが行なわれ、会に一層の彩りを添えた。また長い間の念願であった、同窓会報「あがた」が西塔義睦(高9)、降旗勝次(高10)両氏の努力により、一号が発行され、同窓生にお届けすることが出来、あらゆる面において記念すべき、第15回総会も二時間半におよぶ

グループ

「なっぱの会」

去る一月十四日(木)午後六時半から、新宿の「湖浜」において「なっぱの会」を開催いたしました。この会は、昨年六月四日の同窓会終了後、高9・10・11回卒の有志で二次会を開き、同じメンバーで再度集まった折、会を作ることに決まりました。「なっぱの会」の名付け親は、高10回卒の滝沢昌史さん。

懇親の後、第16回の再会を約して、盛会裡に幕を閉じた。

(新役員紹介)

- | | | |
|------|-------|---------|
| 名誉会長 | 樋口 | 和博(中1) |
| 会長 | 根本 | 静夫(中5) |
| 副会長 | 小林栄太郎 | (中4) |
| 〃 | 塩原 | 貞文(中6) |
| 〃 | 藤沢 | 金雄(中10) |
| 〃 | 大沢 | 清重(中13) |
| 副会長兼 | 中沢 | 依夫(中3) |
| 副幹事長 | 森山 | 修二(高1) |
| 〃 | 堀切 | 競雄(高2) |
| 〃 | 山岸 | 光臣(高3) |
| 〃 | 大月 | 実(高4) |
| 〃 | 栗山 | 英毅(高11) |
| 会計監査 | 松岡 | 博一(中13) |

剣道部OBを中心に発会されましたが、十月七日に開かれた会合では剣道部に限らず、広く門戸を開放し、同窓生なら誰でも入会できるよう決定しました。因みに会長は滝沢昌史さんです。「なっぱの会」と名付けたいきさつについては、機会を改めて滝沢さんに書いていただくことにいたします。なお「なっぱの会」についての問合せは、編集人の西塔義睦さん(821)七〇四七へ。

心の通う住居造り

太陽地所株式会社

太陽建設株式会社

代表取締役 窪村隆人 (第29回卒)

東京都東久留米市東本町7-6
TEL 0424(74)1147(代)
〒180-03 東京都知事免許(1)第28870号
東京都知事免許(般51)第43503号

社団法人
東京都宅地建物取引業協会々員
全国宅地建物取引業補償協会々員

哲学・思想・教育・言語
文学 初版・限定本・全集

梓書房

百瀬純一

(高11回卒 花村教室)

〒101 東京都千代田区神田神保町2-3
神田古書センタービル3F
TEL 03(264)2238